

Part.2

公園の役割ってなに？



日本ではじめて『公園』という言葉が使われたのは **1873年(明治6年)**



政府が地方自治体に対して「人々が皆楽しめる場として、公園にふさわしい土地があれば申し出るように」というお達し(太政官布達)を公布しました。

いま現在では公園とよばれる施設が日本全国に

約 **114,707** 箇所あります。 （全国の「横田」さんと同じくらいの数）

その総面積は 約 **130,531** ha あります。 （USJ 2,417個分ぐらいの広さ）

※令和4年度末時点

https://www.mlit.go.jp/toshi/park/toshi_parkgreen_tk_000156.html

**あなたは、
公園は何のためにあると思いますか？**

みなさんが普段何気なく利用している公園には

「遊具がある！」「ボール遊びができる！」だけではなく様々な **役割**があります。

今回は、まちづくりのなかで『公園の役割』について、学びましょう。

1.都市骨格の形成

目指すべき都市(まち)の方針をあらわしています。

たとえば...

新しい住宅街ができた → 居住する人が利用する公園をつくろう！

まちの人口が増えてきた！ → 大規模な公園(地区公園)をつくろう！

この町に有名なものがあり広めたい → 記念像がある公園をつくろう！

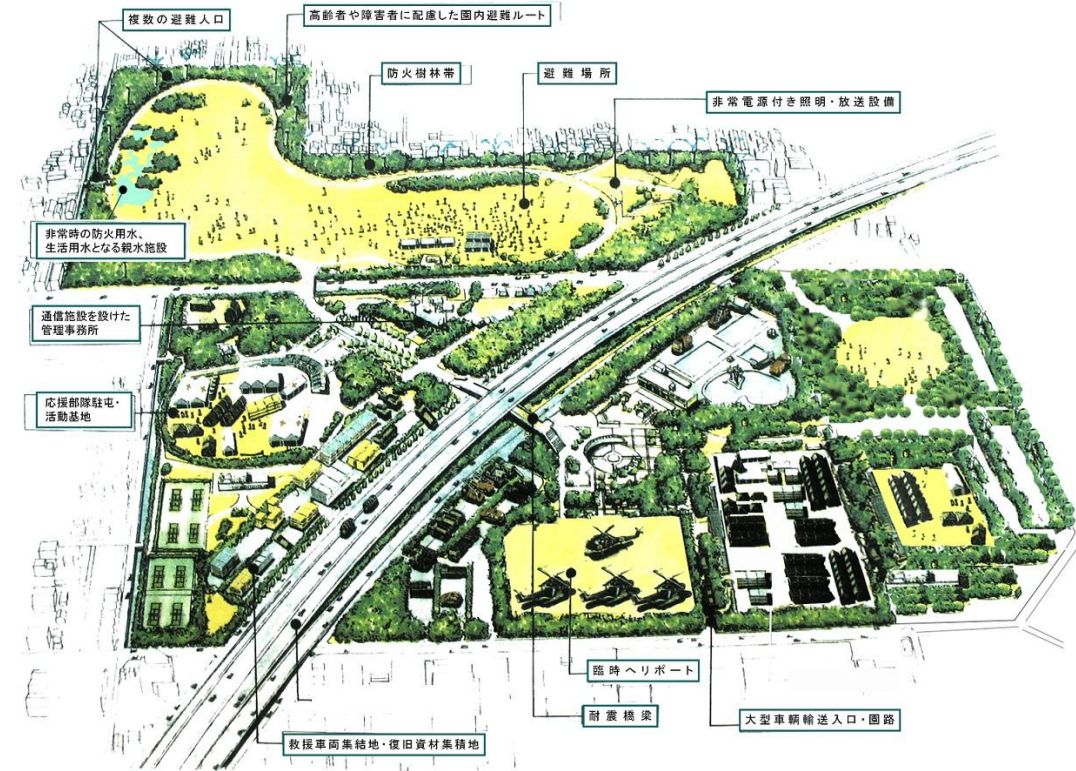
大都市 → 市町村を超える広域のレクリエーションができる公園をつくろう！
(広域公園)

2.都市の安全性の確保

大震火災時の **避難場所、避難路** として公園は役割を果たしています。

たとえば...

- ・災害時に人が **集まれる** ところ
- ・臨時で **ヘリコプター** が **停まれる** ところ
- ・ **輸送入口** を確保できるところ
- ・非常時でも対応できる照明や放送施設など



地震大国ならではの日本では「**防災遊具**」が存在します。



非常時にかまどになるベンチ



非常時にトイレになるベンチ

3.良好な都市環境の形成

自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しよう！

=「グリーンインフラ」

生物が生きる場所の提供

良好な形成環境

気温上昇の抑制（地球温暖化の防止）

グリーンインフラとして 具体的には ...



屋上緑化・壁面緑化

雨水を管理して

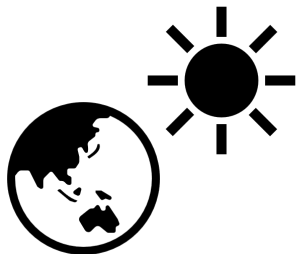
屋根を保護する効果

植物が空気をキレイにする

日射により建物への熱の蓄積を防ぐ
= **ヒートアイランド現象**の防止

ヒートアイランド現象

都市部の気温がその周辺の郊外部に
比べて高温を示す現象





京都市四条堀川交差点

あめにわ 雨庭

雨水を下水道に直接放流することなく

一時的に貯留しゆっくりと浸透させる

構造を持った植栽空間



集中豪雨などで氾濫することを防ぐ

水を蓄えてまわりの植物へ水を与える



4.レクリエーションの場の提供

**運動・休養・散策・自然環境の様々なスポーツ・文化など
公園はレクリエーションの場として空間を提供します。**



公園ヨガ



まちの運動会

公園に地域の人が集まり交流することで

- ・顔なじみになったり
- ・価値観が広がったり
- ・**スマホにはない情報が収集** できたり
- ・充実した時間を過ごしたり

など、たくさんの機能や役割があります！

散策する場所？

友人と過ごす大切な場所？

みんなを守る場所？

**公園は1つ1つに
どの世代もどんな人でも利用できる場所でもあり
大きな役割が必ずあります。**

**あなたが知っている公園はどんな役割があるか
考えてみましょう。**

①

・公園の名前は？

・場所はどこにある？

・最近利用したのはいつ？

・誰がよく利用している？

②

・その公園の特徴は？

・その公園にはどんな役割がある？

③

・どんな公園があればいいと思う？

・その公園は誰にどんな役割を果たす？